

網膜剥離の手術を受けた患者さんの 情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター眼科では、「網膜剥離に対する Pneumatic retinopexy の治療効果」に関する研究を行うことになりました。

この研究の目的は、網膜剥離の患者さんの術後経過を調べて、Pneumatic retinopexy と呼ばれる治療方法（眼内にガスを注入し、翌日以降にレーザーを実施する方法）と手術による治療成績を比較し、Pneumatic retinopexy の有効性を明らかにすると同時に、この方法に適する患者さんの特徴を明らかにすることです。

この研究のため、2014年1月1日より2030年12月31日までに治療を行なった方の診療録、検査データの調査を行います。対象となるのは網膜剥離の手術を受けた方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（治療経過、眼科検査結果、画像解析結果など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の代表である国立病院機構東京医療センター眼科に電子的配信にて送付され、厳重に管理されます。本研究における他の参加施設は神戸大学医学部附属病院/大学院医学研究科です。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年6月

東京医療センター 眼科

研究責任者 秋山邦彦

連絡先 東京医療センター眼科外来

Tel:03-3411-0111